

## ICT活用教育モデル事業について

### 1. 事業目的

モデル校での学習活動において、ICT機器やデジタル教材を活用することにより、教員の授業改善や児童生徒の学習効果等について検証する。

### 2. 概要

- (1) モデル校(今市小学校、斐川東中学校)にタブレットPC及び無線通信環境を導入し、学習活動における事業検証を行う。
- (2) モデル校に提供されるICT機器等の環境は、富士通(株)及び富士通クライアントコンピューティング(株)による無償貸与を活用する。
- (3) ICT活用教育調査研究委員会(小・中学校教員10名)で事業検証や意見交換を行う。
- (4) 事業期間は、平成30年2月から平成31年3月31日までとする。

#### 【モデル校への提供環境】

内容	数量	その他
タブレットPC	100台	<今市小> 児童用50台、教員用3台 <斐川東中> 児童用44台、教員用3台
無線アクセスポイント	4台	各校2台
充電保管庫	数台	<今市小> 職員室 <斐川東中> 1・2階教材室
ICT支援員	1人	運用が安定するまでの間、曜日別にモデル校に出向き支援を行う。(富士通から派遣)
学習ソフトウェア	2種類	・学習情報活用「知恵たま」 ・個別学習支援「ペンまーる」

### 3. 検証内容

- (1) 教室での個別学習やグループ別学習に加え、体育や音楽等の実技学習、校外での観察や地域での調べ学習等にも活用し、児童・生徒個々の基礎的な学力の向上と情報活用能力の育成を図っていく。
- (2) 各モデル校において、市内教員を対象とした実践授業の公開を年間数回実施し、各校のICT機器の積極的な活用促進と、機器を活用して学力向上に繋がる授業改善を図る。
- (3) 保護者への学習公開から、本市の教育事業について広く周知を図る。

#### 4. スケジュール

時期	モデル校	教育委員会・業者
H30 1月	○校内推進体制(案)の検討 ○インターネット回線増幅作業(今市小)	○モデル校での動作環境の確認 ○必要経費の予算化と契約等の確認
2月 3月	○教員研修会の実施(～3月) ○新年度の推進体制及び検証する教科学習等の確認	○ICT支援員選考・勤務形態を協議 ○教員研修会準備・当日の進行 ○サーバ及び無線環境の構築 ○タブレットPCの搬入及びセッティング ○モデル校の機器動作確認
4月	○新入教員を含めた推進体制の確認 ○ICT支援員による研修会 ○事前アンケート(教員・児童生徒)の実施 ○実施計画書の作成・提出 ○月末での活用状況を整理	○授業開始後の使用状況を視察 ○ICT支援員との連絡会実施 ○4月校長会での事業説明
5月 ～7月	○ICT支援員を活用しながら、各種学習での効果的な方法を検証し、その結果を記録する ○校内で学年や教科部会等による活用研修を実施 ○授業公開(保護者・地域、市内教員・ICT活用教育調査研究委員)を実施 ○期末アンケート(教員・児童生徒)の実施	○随時学校訪問を実施し、各種学習での効果的な活用について指導及び助言を行う ○モデル校のICT機器等の点検 ○ICT活用教育推進委員会委員視察 ○モデル校が実施する教員対象授業公開をグループウェアで各小・中学校に周知する
8月	○1学期の活用状況から成果と課題を整理し、改善策などを検討する ○2学期の推進体制及び検証する学習等の確認 ○児童生徒の学力状況を客観的データ等から分析する	○サーバ及び無線環境、タブレットPCの点検 ○2学期実施状況の把握と全市的な授業公開に向けた支援を行う ○中期財政計画に向けた事業拡大を検討
9月 ～12月	○各種学習での効果的な方法を検証し、その結果を記録する ○校内で学年や教科部会等による活用研修を実施 ○授業公開(市長等視察、市内教員・ICT活用教育調査研究委員、保護者・地域)を実施 ○期末アンケート(教員・児童生徒)の実施	○モデル校へ随時訪問指導を実施 ○ICT支援員の勤務態様を協議 ○モデル校のICT機器等の点検 ○来年度予算要求に係る事業化の検討 <b>○市長等による事業視察を予定(11/8)</b> ○ICT活用教育推進委員会において今後の事業展開について協議 ○3学期実施状況の把握と事業検証発表会に向けた支援を行う
H31 1月 ～3月	○児童生徒の学力状況(2学期)を客観的データ等から分析する ○3学期の推進体制等の確認 ○授業公開(保護者・地域、市内教員・ICT活用教育調査研究委員)を実施 ○事業発表会での実践発表(2月) ○期末アンケート(教員・児童生徒)の実施	○モデル校へ随時訪問指導を実施 ○事業終了に係る今後の対応を協議